

Marcela Present's 徳島聖テモテ教会から愛をこめて

も テモテ通信

Vol.15 最終号

シャローム！！



あっという間に、2024年になっていました。

元旦は8時半頃、眉山から初日の出が昇りました。明るい年の始まりに喜んでいましたが、その日の夕方には能登で大震災が起こってしまいました。被災された方々に主の慰めがありますよう、心から祈ります。

「もテモテ通信」も、15号になりました。2020年のイースター号から始めて、不定期に出してきましたが、今号が最終号となります。お読みくださり、ありがとうございました。

この「もテモテ通信」を通して、人とのつながりがたくさんできました。感想をいただいたり、励ましていただいたり、感謝しています。

皆さまのこれからが、明るく輝かしいものとなりますよう、切に願っています。

【2023年12月25日 クリスマス】



少し暖かで穏やかなクリスマスデーでした。明るい日差しに、国府にある「VIOLA」というお花屋さんのアレンジメントが美しく映えました。

10時頃、礼拝堂から駐車場を見ると、タクシーから3人の博士よろしく、3人の女性がそれぞれ赤、青、黄色のマフラーをつけて降りてこられました。

平日にもかかわらず、10名で降誕日の礼拝を行いました。でも、実は聖別されたパンが7枚しか無かったので、小さなウエハースを半分にして分け合いました。小さなイエスが誕生した日に小さなパンを分け合うのは、なんだか気持ちの温くなる出来事でした。

礼拝後はサプライズプレゼントが？！受け取る側のサプライズなのか、提供する側のサプライズなのかは疑問ですが、礼拝前に、前週の「9 Lessons & Carols」をYoutubeでご覧になった方からのリクエストで、宮田せんせえは「Ave Maria」を独唱し、わたしは「Christmas Medley」をピアノで弾きました。

【宮田家のクリスマス】



2023年は諸事情あって、(ものぐさだっただけ?)クリスマスツリーを飾りませんでした。そこで、アドベントカレンダーをクリスマスツリーにしました。

カルディに行った時に、可愛らしいのと、繰り返し使えるのに一目惚れして連れて帰りました。

これの良いところは、1日ずつお菓子を取り出したあと、硬貨をいれていけるのです。貯まったお金は、困っている方のための施設などに献金できたら良いなと考えています。

ご報告

この度、宮田裕三執事は2月29日付けで徳島伝道区勤務を解かれ、3月1日付けで神戸聖ミカエル教会牧師補となります。

2019年4月1日から徳島聖テモテ教会定住で徳島伝道区勤務となり、約5年が経ちます。

最初の1年は何もかもが手探りの状態で、翌年からはコロナ禍となってしまう、人との接触が断たれる状態になりました。そんな特殊な状況の中、聖職、そしてその妻として駆け出しだったわたしたちは、至らないことがたくさんあったと思います。それにもかかわらず、受け入れていてくださったことに、心から感謝しています。

この5年、たくさんのごことを経験しました。

テモテ教会は眉山の麓にあり、礼拝堂から日々変化していく眉山を眺めるのは至福の時でした。洗濯物を干していると聞こえてくる鳥の声、香ってくる風は、高原にいるかのようでした。

最初の年、毎週水曜日に行っていた「オリーブの会」で、月に1度礼拝堂でテゼの祈りをしていました。ハーブの音色を聞き、美しい景色を見ながらの祈りは深いいやしの時間でした。

インマヌエル教会で行われている「がんカフェ」は、癌にかかったことのないわたしたちが関わることに疑問を持ちながらも、多くの出会いがありました。

鳴門聖パウロ教会では、ある方が「教会で『教会音楽』を聞いたことがない」とおっしゃった言葉で、奏楽に力をいれるようになりました。今は実質、その方しか信徒さんがおられませんが、その方の「教会に人を呼びたい」というお気持ちに、わたしたちも励まされています。

富岡キリスト教会は、以前より人が増えたようです。大家族の一員になったような感じがいつもしていました。

徳島県には、「教職者連合会」という、キリスト教会の聖職者の集いがあります。その関係で、宗派を越えた深い交わりを持つことができました。

たくさんの人に出会い、楽しく笑うことが多かったです。もちろん、意見が違うこともありました。でも、そのことを含めて、多くを学びました。わたしたちが皆さんから得たものはたくさんありますが、わたしたちが皆さんにできたことが十分にあったのだろうか？と考えてしまいます。

それでも、神に生かされ、イエスに倣って生きていくわたしたちは、それぞれの場で「神の国の実現」のため歩んで行くのだと思います。

Peace of the Lord be with you always!



みやた せんせえ より

「最初から他人に期待しない」

私は「人を信用していない」という思いを持っています。「人を信用していない」という言葉はとても強い言葉だと感じますが、心の言葉としてはこの通りです。同じ意味をタモリさんは「最初から他人に期待しない」という言葉で表現しています。タモリさんの言葉の方が丁寧な表現だなあと感心しました。他人に期待をすると腹を立てたり怒りの感情を相手に持ってしまいます。また、ガッカリしたり裏切られた感情を持つこともあります。他人に期待をしなければ、これらの思いに心を奪われることもなく穏やかに過ごすことができます。

怒りに自分の心が振り回されるのは、人生においてとてももったいないことだと感じています。

毎年誕生日にはFacebookで長文メッセージを投稿していますが、今年の誕生日は小津安二郎監督の「どうしてもよいことは流行に従い、重大なことは道徳に従い、芸術のことは自分に従う」という言葉を引用しました。「どうしてもよいことは流行に従い」という部分に惹かれました。タモリさんの生き方とも共通するのだと思いますが、この世界のほとんどが「どうしてもよいこと」だと理解できるようになれば、ポピュリズムに近いのかもしれませんが、ポピュリズムよりもっとゆるい感覚で流れに身を任せていけると思っています。年を重ねてプライドなんてものもほとんどいらぬ感覚にもなっています。

これらの感覚に通底しているのは、私の持つアナーキーな思想だと考えています。親和性が高いのかもしれませんが、さらに言えばイエスのもつアナーキーな生き方に惹かれているのかもしれませんが、自分の事をアナーキーと表現してしまうこと自体、すでに自己矛盾してしまっているようにも感じます。アナキズムといえば宗教も否定の対象になってしまう危うさがありますから、微妙なところですが、それでもすべての権力や支配からの解放という時代遅れの思想は大切にしていきたいと思っています。その上でだれとも連むことなく、人を一人の人格として受け止めて関わっていくことで、豊かな出会いになっていくのだと感じています。

絶望と孤独の中で生きてきたサバイバーは、いつも「この世界から消えたい」と思いながら、面倒くさいことを常に考えながら今日も生きながらえています。

ちなみに、聖書の神は「求めよ、そして生きよ」と語っています。



親しい友人のところに遊びに行ったら、ケーキに写真がついていました。写真を縁取る Thank you so much. の言葉は、わたしたちから皆さんへのメッセージとして使わせてもらいます。

三男は現在高校2年生なので、わたしと三男は北田宮に部屋を借り、夫と四男は神戸で暮らす予定なので、家族はバラバラになります。新しい生活がどうなっていくのか、ハラハラ、ドキドキしていますが、何事をも楽しんでいけたら良いと思っています。

「もてもて通信」は終わりますが、また何か別の形で発信していけたらと思っています。

どうぞ、皆さま、お元気にお過ごしください。

マルセラ宮田美樹

2024/2/1発行